



2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

高1・2生向け大学入試セミナー

今から始める合格戦略

【首都圏エリア】

新大学入試に向けてご家庭でできること
（首都圏エリア保護者様向け）



2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

高1・2生向け大学入試セミナー

《第1部》 新大学入試に向けた情報整理

◆セミナー（ライブ/録画）では、投影のみの資料を用いて説明する場合があります。

これからの大学入試の全体像

これからの時代に必要となる資質・能力の育成

知識
技能

思考力
判断力
表現力

主体性
多様性
協働性

学力の3要素

多面的・総合的に評価する大学入試に転換

大学入学共通テスト・個別試験

主体性評価

思考力・判断力・表現力を評価

調査書・志望理由書等で
高校3年間の活動履歴が評価対象に

さまざまな選抜方法と狙い

一般入試

AO入試

推薦入試

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜



- 調査書、志願者が記載する資料(志望理由書等)の積極的な活用
- 共通テストの活用、個別試験の出題科目の見直しや充実

- 志願者が記載する活動報告書や志望理由書等の書類を積極的に活用
- 小論文やプレゼン、口頭試問等又は共通テストのいずれかを必須化

- 推薦書を通して、学力の3要素を評価することを必須化
- 小論文やプレゼン、口頭試問等又は共通テストのいずれかを必須化

一般選抜でも「調査書」や「志望理由書等」で主体性を評価
総合型選抜、学校推薦型選抜でも学力的要素が問われる

共通テスト、ここが変わる！

		共通テスト	センター試験
試験時間 ・配点	<ul style="list-style-type: none"> 数学① 70分 100点 英語【リーディング】 80分 100点 英語【リスニング】 30分 100点 	<ul style="list-style-type: none"> 数学① 60分 100点 英語【筆記】80分 200点 英語【リスニング】 30分 50点 	
理科の 出題方法	<ul style="list-style-type: none"> 「物理」「化学」「生物」「地学」の 選択問題を取りやめ 	<ul style="list-style-type: none"> 「物理」「化学」「生物」「地学」の 一部に選択問題を配置 	
英語の 出題方法	<ul style="list-style-type: none"> 【筆記】を【リーディング】に変更 「発音」「アクセント」「語句整序」を 単独で問う問題は出題しない 場面設定によってイギリス英語も 使用 		<ul style="list-style-type: none"> 【筆記】として「発音」「アクセント」「語句整序」の問題も出題
リスニングの 問題音声	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を2回流す問題と1回 流す問題を出題 		<ul style="list-style-type: none"> 全設問2回読み

「試行調査」の出題内容から（全般）



「社会とのかかわり」や「探究活動」を意識した設定

- すべての教科で**「日常生活や社会の事象」**を意識した素材を出題
- グループワークの場面が扱われるなど**「探究」**を意識した出題



複数の資料を読み取り、情報を統合・考察する力の重視

- 「文章」だけではなく、「グラフ」「図表」など**複数の資料**が扱われる
- 文章や資料なども含め、現センター試験より全体的に分量が増加し、思考力・読解力がより問われる



解答形式の多様化：新形式のマーク式などが出題

- 「正答が複数ある」「解なし」など従来とは異なるマーク式設問

「試行調査」の出題内容から（国語・数学）

国語の出題内容

【資料1】

著作権のイロハ

著作物とは（著作権法第二条の一より）

- 思想または感情を表現したもの
- 思想または感情を「創作的」に表現したもの
- 思想または感情を「表現」したもの
- 「文芸、学術、美術、音楽の範囲」に属するもの

著作物の例	言語	音楽
<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・脚本 ・講演 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲 ・楽曲を伴う歌詞 等 	
舞蹈・無言劇	美術	地図・图形
<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス ・日本舞踊 ・振り付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画 ・版画 ・彫刻 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的な図面 ・图表 ・立体図 等

著作権の例外規定（権利者の了解を得ずに著作物を利用できる）
〈例〉市民楽団が市民ホールで行う演奏会

【例外となるための条件】

a

第2問 次の【資料1】は、【資料2】と【文章】を参考に作成しているポスターである。【資料2】は著作権法（一〇六年改正）の某文の一節であり、【文章】は名和田太郎の「著作権2、0 ウェブ時代の文化発展をめざして」（一〇一〇年）の一部である。これらを読んで、後の問い合わせ（問1～6）に答えよ。なお、設問の都合で【文章】の本文の段落に①～⑯の番号を付し、表記を一部改めている。（配点 50）

数学の出題内容

〔3〕久しく学校に行くと、階段の一段一段の高さが低く感じられることがある。

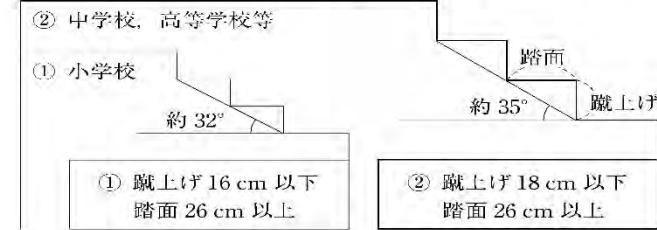
これは、小学校と高等学校とでは階段の基準が異なるからである。学校の階段の基準は、下のように建築基準法によって定められている。

高等学校の階段では、蹴上りが 18 cm 以下、踏面が 26 cm 以上となっており、この基準では、傾斜は最大で約 35° である。



【建築基準法による階段の基準】

* 下の図は、階段の傾斜が基準内で最大のときを表している。



階段の傾斜をちょうど 33° とするとき、蹴上りを 18 cm 以下にするためには、踏面をどのような範囲に設定すればよいか。踏面を $x\text{ cm}$ として、 x のとり得る値の範囲を求めるための不等式を、 33° の三角比と x を用いて表せ。解答は、解答欄（い）に記述せよ。ただし、踏面と蹴上りの長さはそれぞれ一定であるとし、また、踏面は水平であり、蹴上りは踏面に対して垂直であるとする。

実用的な資料を含む、
多様な素材が出題

※出典：大学入試センター「平成30年度試験問題等」（2018年11月11日）より作成

https://www.dnc.ac.jp/daigakunyugakukiboushyagakuryokuhyoka_test/pre-test_h30_1111.html

階段の構造を
数学的アプローチで考察

「試行調査」の出題内容から（英語・リーディング）

2018年度 センター試験

1	発音・アクセント
2	知識 文法・語彙語法 語句整序・応答文完成
3	不要文指摘・発言要約
4	データ読み取り（図表・広告）
5	長文読解（物語）
6	長文読解（論説）

2018年 試行調査

1	読解（伝言メモ・サイト記事）
2	読解（サイトの 料理レシピ ・記事）
3	読解（ ブログ ・記事）
4	読解（記事・ データ読み取り ）
5	読解（物語/伝記）
6	読解（ 記事 ）

今後、求められる英語力とは？

（発音できる）語彙力／（正確さよりも）流暢さ
 瞬発力（処理スピード）／推測力（思考力・判断力）

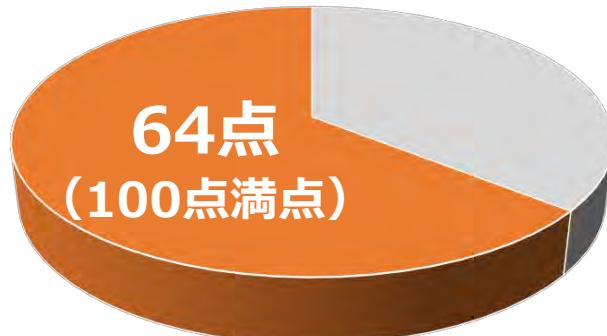
英語【リスニング】の対策が重要に

問題番号と音声を流す回数

第3問以降は、
英語の音声を流す回数を1回に。

2回	1回
第1問・第2問	第3問～第6問

平成30年度試行調査
英語【リスニング】 第3問以降の配点



試行調査では第3問以降の
問題で**64点**を占める。

「英語」リスニングの配点比率

リスニング 比率	R : L 得点例	具体的な大学 (一部)
50%	[1:1] R:100 L:100	お茶の水女子大、東京外国語大、東京海洋大、東京学芸大、東京工業大、一橋大、高崎経済大、青山学院大、上智大、立教大、早稲田大 など
30～ 40%	[7:3] R:140 L: 60	東京大:30%、東京農工大:35%、神田外語大:40%、駒沢大・経営:33%、明治大・商:40% など ※数字はリスニング比率
25%	[3:1] R:150 L: 50	宇都宮大、前橋工科大、埼玉県立大、東京医科歯科大、東京医科大、東京理科大、武蔵大 など

これまでよりも**リスニングの比率が高まる**
大学が増える。リスニング対策がより重要なに。

大学入学共通テストに向けたポイント

ポイント 1

基礎・基本(例:教科書で扱う定理・公式)の
本質理解が重要に。

ポイント 2

考え方(思考法)の“**型**”が重要に。
問題の捉え方・情報の整理の仕方を身に付ける。

ポイント 3

読解力が重要に。
時間内に問題の素材や設問を読み解く力を育成する。

国立大学 英語の資格・検定試験の利用（一般選抜）

出願資格

一定水準以上の成績を出願時に求める

東京海洋大

※海洋工学部では英語資格・検定試験の成績を提出できない場合、理由書の提出可

1大学

加点

共通テストの英語や個別試験に加点する

千葉大（法政経、教育、理、工、薬、園芸、看護）、大阪教育大（学校教育、教育協働の一部）、山口大（国際総合科）、九州工業大、鹿児島大

5大学

みなし得点

一定水準以上の成績で共通テストや個別試験の英語の成績を「満点」等に

秋田大（国際資源）、東京藝術大（音楽）、千葉大（国際教養、教育・英語教育コース）、福井大（国際地域）、広島大、長崎大（多文化社会）、宮崎大（工）、鹿児島大

8大学

高得点利用

共通テストの英語などと民間試験の成績で高得点の方を利用

茨城大（工）、金沢大（融合学域〔仮〕、人間社会※1、医薬保健・保健、一括）
※1法学類を除く、九州大（共創）、佐賀大

4大学

「**加点**」、「**みなし得点**」、「**高得点利用**」が大半を占める

千葉大学 英語の資格・検定試験の利用

パターン I

国際教養学部、
教育学部
(英語教育コース)

「外国語」の得点換算	Cambridge English	実用英語技能検定(英検)	GTEC※	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W
満点換算	160 以上	2300 以上 ※1	1190 以上	6.5 以上	309 以上	600 以上	80 以上	1560 以上
20 点加点	153 以上	2180 以上 ※2	1120 以上	5.0 以上	280 以上	540 以上	62 以上	1420 以上
10 点加点	140 以上	1950 以上 ※3	960 以上	4.0 以上	225 以上	420 以上	42 以上	1150 以上

パターン II

園芸学部、
看護学部

「外国語」の得点換算	Cambridge English	実用英語技能検定(英検)	GTEC※	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W
30 点加点	160 以上	2300 以上 ※1	1190 以上	5.5 以上	309 以上	600 以上	72 以上	1560 以上
20 点加点	153 以上	2180 以上 ※2	1120 以上	5.0 以上	280 以上	540 以上	62 以上	1420 以上

パターン III

文学部※4、
教育学部※5、
法政経学部、
理学部、工学部
薬学部

「外国語」の得点換算	Cambridge English	実用英語技能検定(英検)	GTEC※	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R + TOEIC S&W
10 点加点	160 以上	2300 以上 ※1	1190 以上	5.5 以上	309 以上	600 以上	72 以上	1560 以上
5 点加点	153 以上	2180 以上 ※2	1120 以上	5.0 以上	280 以上	540 以上	62 以上	1420 以上

※1 1級又は準1級を受験して取得したスコアに限ります ※2 準1級又は2級を受験して取得したスコアに限ります ※3 2級を受験して取得したスコアに限ります

※4 人文学科日本・ユーラシア文化コース ※5 英語教育コース以外 ※GTECは4技能のオフィシャルスコアのみ有効

※出典：千葉大学「令和3年度千葉大学入学者選抜における外国語検定試験成績の利用について」(2019.11.29) より作成

http://www.chiba-u.ac.jp/exam/R3gaikokugo_kentei.pdf

立教大学 英語の資格・検定試験の利用方針

【一般入試での英語科目の扱い】

	変更後	変更前
対象とする 英語資格・ 検定試験 <変更なし>	ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（英検）、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT（本学一般選抜の各試験実施月から遡って2年以内に受験し取得したスコアが有効）	
大学入学共通 テストの英語 成績	利用できる	利用不可
大学入試英語 成績提供シス テム	(11月1日に文科省より見送り・延期発表)	活用する

- ※ 英語資格・検定試験のスコアと大学入学共通テストの英語成績の両方の提出も認め、本学独自の得点換算方式に基づき、より点数の高い方を合否判定に採用します。
- ※ 上記以外の内容については、2019年7月5日付プレスリリースにて発表したものから現時点で変更はありません。

文学部以外は個別試験の外国語（英語）は**実施せず**、
英語資格・検定試験または共通テストの英語成績を合否判定に利用

※出典：立教大学「2021年度入試一般選抜改革の変更について：一般入試で大学入学共通テストの英語成績を利用可能にします」より（2019年11月21日）

<https://www.rikkyo.ac.jp/news/2019/11/mknpps0000011vge-att/mknpps0000011w9l.pdf>

主体性評価の活用パターン

出願要件

出願書類として、受験生本人が自分自身の経験を振り返り、文章化。得点化はしないが出願時に提出が必要。

【例】早稲田大、慶應義塾大、明治大、法政大など

点数化

調査書や出願書類（志望理由書など）を点数化、利用する方法。評価観点などは大学によって異なる。

【例】信州大など ※筑波大、東京都立大などは2021年度入試では見送り

特定の受験生を点数化

学科試験の結果を得点順に並べた上で、一定の受験生選抜に用いる方法。学力以外の観点で受験生の力を見極めるのに利用。

【例】北見工業大、埼玉大、佐賀大など

2021年度
は見送り

筑波大学の例

総合選抜（2021～）

文系

理系Ⅰ

理系Ⅱ

理系Ⅲ

※上記の選抜区分で受験、2年次に各学類へ

共通テスト
900点



個別試験
1,550点

調査書を
点数化
(50点)

佐賀大の例

特色加点制度

合格

合格ライン

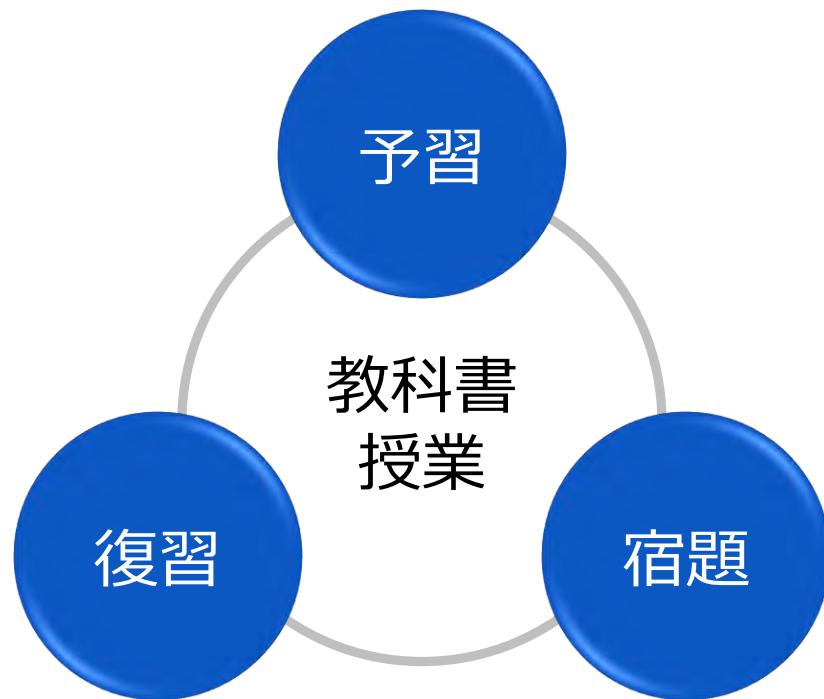
合格ライン前後の
選抜に活用

不合格

【対象学部】教育、経済、理工、農、
芸術地域デザイン(地域デザイン)

高校学習のキホン①

予復習や宿題を通じて、教科書・授業内容を理解・定着



【予習】

次に習う範囲を「**分かる**」or「**分からない**」部分に整理。自分の**考え方**や**意見**などをまとめておく。「作業」ではなく「考える」予習が重要に。

【授業】

予習時の「**分からない**」部分を集中して確認。先生の説明、クラスメイトの意見や考え、気づいたことなどを必ずメモしておく。

【復習・宿題】

授業で理解できなかった、曖昧な内容について、**メモや教科書・参考書などで確認＆理解**。宿題で演習を行い、知識を整理・定着させる。

高校学習のキホン②

望ましくない勉強スタイル
・学習の考え方

- ・受け身の学習姿勢
- ・場当たり的な学習
- ・丸暗記やテクニックがすべて
- ・ドリルなど練習量がすべて
- ・わからないとすぐ正解を求める
- ・勉強の“環境”を重視

望ましい勉強スタイル
・学習の考え方

- ・自立的な学習姿勢
- ・計画的な学習
- ・意味理解や思考過程を重視
- ・効果的な学習方法を重視
- ・わからなくてもまず考える
- ・自分の“行動”が全てと考える

自分で考え、理解する勉強スタイルに転換しよう！

これから意識したい学習について（まとめ）

■ 教科書・授業を中心に学習を進めよう

- ・毎日の予習・復習の習慣化が重要

■ 望ましい勉強スタイル・考え方切り替えよう

- ・「自立的」、「計画的」、「理解する」学習を意識する

■ 成績を伸ばすための必須条件

- ・「生活習慣」と「学習習慣」の確立→「成績」に直結

■ 「3点固定」を意識して、生活・学習習慣を確立する

- ・生活習慣：「就寝時間」、「起床時間」、「食事の時間」
- ・学習習慣：「開始時間」、「終了時間」、「内容」

MEMO



2020 ベネッセ
教育情報
フォーラム

 Benesse
ベネッセホールディングス

高1・2生向け大学入試セミナー

《第2部》 新大学入試に向けて ご家庭でできること



◆第2部のセミナー（ライブ/録画）では、投影のみの資料で説明します。

MEMO

MEMO

MEMO